

2023年9月27日(水)

報道関係者各位

オリザ油化株式会社

オリザ油化株式会社が既存製品である コスメハーベスト®ブラッククミンに 新たに『ストレス臭減少作用』を有することについて 特許取得！

オリザ油化株式会社(本社:愛知県一宮市,代表取締役:村井弘道,以下「オリザ油化」)は,2018年に体臭ケア素材として上市したコスメハーベスト®ブラッククミン(以下,ブラッククミン抽出物)が新たにストレス臭減少作用を有することについて,特許を取得しました(特許7297454号)。

《今回の取得特許データのご紹介》

これまで,人の体臭はアポクリン腺から分泌された汗が皮脂と混ざり,それが皮膚常在菌により分解されることにより生じるとされています。しかしながら近年,新たに人の体臭の中には,アポクリン腺等から分泌されるものではなく,ストレスにより分泌されるものもあることが知られるようになりました。

現代社会は,SNSをはじめとした情報化によるストレスや,新型コロナウイルス感染症の蔓延による日常生活の変化,リモートワークの普及による労働環境の変化や雇用状況の悪化によるストレスなど,ストレス臭が分泌されやすいストレス社会とも云われています。

この背景の下,オリザ油化は,ブラッククミン抽出物(コスメハーベスト®ブラッククミン)がストレス臭の原因成分として知られているアリルメルカプタンを減少させる作用を有することを見出し,特許を取得しました(特許7297454号)。具体的には,におい袋にストレス臭成分であるアリルメルカプタンを注入して空気を充填したのちブラッククミン抽出物をにおい袋に注入した際,におい袋中のアリルメルカプタンを27.8%軽減することを見出しました(図1)。

《ブラッククミンと消臭の既存データ》

昨今,ビジネスシーン(職場)において『同僚など周囲の人の容姿や身だしなみで「どうにかしてほしい」と思うのはどんなことですか?』というアンケートの回答として,常に「体臭」が上位に挙がるなど,体臭ケアに対する需要が年々高まっております。この需要の高まりを受け,体臭の原因となる様々な臭気成分をブラッククミン抽出物が減少させるか研究して参りました。その結果,ブラッククミン抽出物が①汗臭(イソ吉草酸,酪酸),②ミドル脂臭(ジアセチル),③加齢臭(ノネナール),④疲労臭(アンモニア)を減少させる作用を見出し,さらに臨床試験(塗布)により体臭抑制作用を確認しております。(特許第6547050号)。

《ブラッククミンについて》

ブラッククミン(学名:Nigella sativa 和名:ニオイクロタネソウ)は、キンポウゲ科クロタネソウ属のひとつで、世界ではクロタネソウ属は20種類が知られています。花は青色、白色とあり非常に美しく、種子は黒色であるため、ブラックシードとも呼ばれています。

属名はラテン語で黒を意味する Niger から名づけられており、和名のクロタネソウも属名からつけられています。また、別名でブラッククミンとも呼ばれていますが、セリ科のクミンとは全く異なる植物で、そのほかローマン・コリアンダー、ブラック・セサミ、オニオンシードとも呼ばれているほか、英語では Love in a Mist (霧の中の恋)というロマンティックな別名もあります。種子は砕くとナツメグのような香りがあり、黒コショウの代用として使用されたり、パンやケーキに振りかけたりして使用され、インド料理にもよく利用されており、味・香り付けに利用されています。またインドでは、消化剤、駆虫剤、利尿剤、通経薬などに広く使われています。

今回のストレス臭軽減作用および体臭抑制作用特許の取得により、体臭ケア素材であるコスメハーベスト®ブラッククミンの位置づけがさらにランクアップし、制汗剤等の一般的なデオドラント分野のみならず、幅広い化粧品全般やストレス関係の商品への応用など、幅広い分野へ、かつグローバルに積極展開していきます。

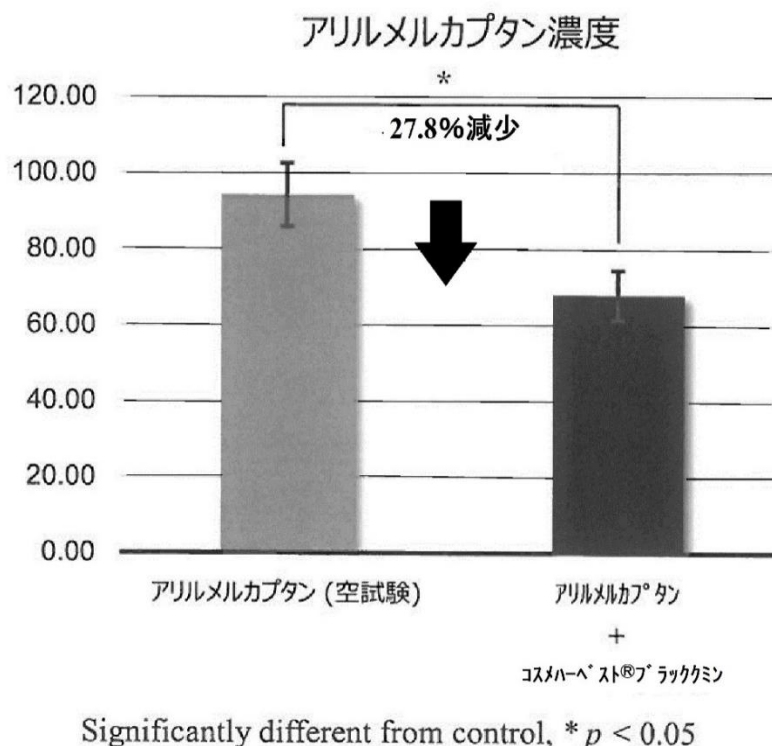


図 1.コスメハーベスト® ブラッククミンのアリルメルカプタン(ストレス臭)減少作用

以上